

私のほっとな時間

ぎらっとLIKE WORK KAWACHINAGANO CITY

河内長野で輝いている人に聞きました

VOLUME
15

河内長野市消防団 第2分団(天野地区)

泰中 洋輔さん



仲間と力を合わせ
生まれ育った地域のために

ほっと

大切にしているもの

POINT



普段はそれぞれの仕事をしながら、火災や災害が発生した際に地域のために活動する消防団。自営業で普段から地域のために何かできないかと考えていた泰中さんは、先輩からの誘いをきっかけに、地元天野で活動する第2分団に平成31年4月に入団しました。

消防学校や消防署でホースの扱い方や安全管理などを学び、初めて火災現場に出動した時は「何をすればいいのか分からず、指示に従って動くのが精いっぱいでした」と振り返ります。

実際の火災現場では、住民がパニックになっていることも多く、落ち着いて対応することの大切さも実感しました。現在は消防車の運転やポンプなどの機械操作を担う「機関員」として活動しています。

定期的に行っている訓練では、消防

機器やポンプ車の操作、放水などの一連の動きを練習します。「いざという時にスムーズに動けるよう、手順を繰り返し確認します」と語る泰中さん。

河内長野は市域が広く、山間部も多いまち。地域の道や林道を知っていることが、災害時に役立つこともあります。山火事や山中での捜索では、現場付近の道案内をすることも。台風や大雨の際の巡回、倒木や浸水への対応、歳末警戒など、日ごろから地域の安全を支えています。

「消防活動は一人ではできません。自分の役割を把握して、仲間を信頼することが大切です。何かあった時に地域のみなさんの力になれるよう準備しています。消防団を少しでも身近に感じてもらえたらうれしいです」と笑顔で話してくれました。

昨年9月に河内長野市の代表の一員として、府内の各地区代表と競う消防大会に出場しました。5人の教官と11人の仲間と訓練を重ね、大会に挑んだ結果、見事優勝を果たし、泰中さんは優秀選手賞を受賞。「大会で得た経験も生かして、いざという時に地域のために行動できるようになりたい」と話します。

消防団の活動に興味をお持ちの人はお気軽に危機管理課までお問い合わせください。